

「現場見学会～農業用水路～」を開催

＜四国東部農地防災事務所＞

四国東部農地防災事務所では、鳴門市立堀江南小学校5年生12名を対象に、国営吉野川下流域農地防災事業が果たす役割についての理解を深めてもらうため、平成27年6月27日に現場見学会を開催しました。開催地は吉野川下流域農地防災事業北部幹線水路(松村工区)その6工事現場で、延長234m、B2.4m×H2.4mの現場打ち箱型暗渠を造成中です。

はじめに、当事務所職員より吉野川下流域農地防災事業についての説明を行いました。児童は、農業と今回見学した工事現場がどのような関係があるか興味を持って聞いてくれました。その後、受注者である株式会社吉岡組土井所長より水路の作り方や手順など写真を使って説明していただき、普段は見られない大きな水路の作り方に児童は興味津々でした。説明の後、完成したばかりの水路内に入り歩いてもらいました。水路に流れる水の量について普段児童が使っている小学校のプールで例えると約1分で満杯になることを説明すると、児童は驚いた様子でした。また、水路内では落書きをしてもらい、児童は思い思いに壁一面に言葉や絵を描いてくれました。

続いて、開催地の工事現場で実際に使用している重機のバックホウとロードローラーの試乗体験をしてもらいました。簡単に多くの土をすくえたり、空き缶を潰したりできるなど、工事現場で作業をする上で重機の能力とはとても便利なものであると同時に、重機は危険なものでもあり工事現場では注意が必要であることを児童に理解してもらえました。



【工事説明の様子】



【水路内の落書きの様子】

最後に、開催地の工事現場には、児童が土のう袋に描いたレンコンやコウノトリなどの地域に関する絵を展示しており、そこで記念撮影を行いました。児童は自分たちが描いた絵が工事現場に展示してあるのを見て喜んでいる様子でした。また、展示準備中には車を止めて絵を見る方や地元の子どもが絵を描きにきてくれたり、「明るい気持ちになれて良い。」と地元住民からコメントを頂くなど、工事現場のイメージアップにも繋がりました。

見学会終了後に行ったアンケートには、「水路を汚さないようにポイ捨てをしないようにしたい。」「排水を少なくするなど水を大切にしたい。」など、実際の水路を見てもらうことで、農業用水を大切にすることはもちろんのこと、農業用水以外の水も大切にしなければいけないという意識を高めることができました。今後もこのような見学会を設け、農業についての関心と理解を深めてもらえるよう、地域貢献活動を進めていきたいと思っております。